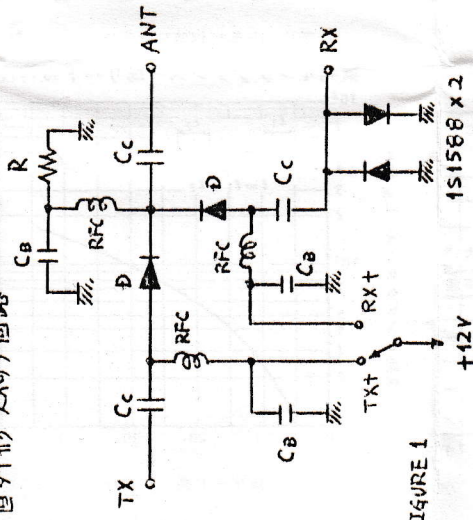


パーツリスト

- MI301/MI402 2本
- 1S1588 2本
- セラミック 0.01μF (103) 12本
- 抵抗 620Ω (MI301) 5本
- 240Ω (MI402) 1本 (1W)
- 0.6mmφ I7タル線 1.5m

直列形スイッチ回路



- Cb : 0.01μF
- Cc : 0.01μF を 3本並列に接続したものの

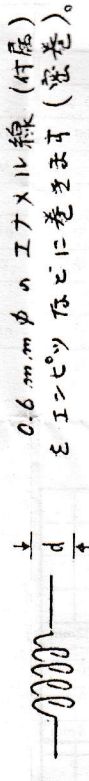


- D : MI301 または MI402
- R : 620Ω 1W (MI301)
- : 240Ω 1W (MI402)

★組み立てのコツについて...

回路は左下の図 (FIGURE 1) の通りです。この回路は基板に書いてある通り、図の通りの部品配置にすれば簡単です。Cc は電容量を小さくするため、3本並列にして下さい。RFC は各コイルの軸が重ならないように配置します。

コイルデータ (RFC)



周波数	巻数	この巻数の標準として、SWRが高いたまは1~2回増やす。
30 ~ 50 MHz	17回	
50 ~ 100 MHz	14回	
100 ~ 200 MHz	10回	
200 ~ 400 MHz	7回	
400 MHz 以上	5回	

マルチバンドで使用するとき、最低周波数に合わせてコイルを巻いて下さい。

★接続法

アンテナ切換えに使用するとき、TXをアンテナ1、RXをアンテナ2、ANTをトランシバへ接続します。この場合は1S1588は必ず取りはずして下さい。トランシバ一等の送受切り換えのときは、ANTをアンテナ、TXを送信部、RXを受信部に接続します。

★使用法

TX+に12Vを加えるとTXとANTが、RX+に12Vを加えるとRXとANTが高周波的に接続されます。

電源電圧12Vと9Vのときの端子間インピーダンス、ロスとTABLE1(12V)、TABLE2(9V)に示します。

TYPICAL CHARACTERISTICS

- ↑ ISOLATION : TX TO RX
- ↑ TOTAL LOSS : TX TO ANT

TABLE 1 : FIGURE-1 (MI301/402)

FREQUENCY	ISOLATION	TOTAL LOSS
30 MHz	42/40 DB	0.8/0.3 DB
50 MHz	36/39 DB	0.8/0.3 DB
144 MHz	26/39 DB	0.8/0.3 DB
220 MHz	23/38 DB	1.0/0.4 DB
440 MHz	17/36 DB	1.5/0.5 DB

TABLE 2 : FIGURE-1 (MI301/402)

FREQUENCY	ISOLATION	TOTAL LOSS
50 MHz	36/27 DB	0.8/0.3 DB
144 MHz	31/33 DB	1.0/0.3 DB
220 MHz	28/31 DB	1.5/0.4 DB
440 MHz	25/24 DB	2.0/0.5 DB

MI301/402 RF SW Set データ

性能改善の為予告なく仕様を変更する場合があります。

REVISED JULY 1961
PREPARED BY BERG LAB.

株式会社 亜土電子工業
東京都千代田区外神田3丁目10番7号
〒101 外二北沢ビル
TEL (03) 253-8303 (代)